

令和 3 年 度

事業報告書及び附属明細書

社 会 福 祉 法 人

加 美 町 社 会 福 祉 協 議 会

令和3年度事業報告書

(期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日)

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

本会運営に関する事業(法人運営事業)

1. 本会運営に関する事業

- (1) 理事会(5回)
- (2) 監事会(2回)
- (3) 評議員会(4回)
- (4) 評議員選任・解任委員会(1回)
- (5) 地区推進員会議(各地区1回)
- (6) 職員会議(月1回定例開催)

2. 共同募金運動

3. 各福祉団体への協力、支援

4. その他の大会、会議等への参加、協力等

みんながわかりあうまちづくり(情報・地域課題を共有しよう)

5. 地域住民の福祉ニーズの把握

- (1) 民生委員児童委員との連携強化
- (2) 住民アンケートの実施

6. 地域福祉に関する総合的な情報提供(広報活動の充実)

- (1) 社協だよりの発行
- (2) パンフレットの作成
- (3) ホームページ活用による情報発信
- (4) 行政広報誌への掲載等

共に支えあうまちづくり(地域福祉を推進しよう)

7. 基幹的福祉サービス基盤の充実

- (1) 高齢者等生活支援(配食サービス)事業
- (2) 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業

8. 公的サービスの利用支援

- (1) 日常生活自立支援事業(まもり一歩)の利用促進
- (2) 生活困窮者自立支援事業の利用促進、連携強化

9. 地域自立生活を促進する経済支援

- (1) 生活福祉資金貸付事業
- (2) 生活安定資金貸付事業

10. 地域福祉事業の推進

- (1) 一人暮らし高齢者訪問事業
- (2) 歳末ふれあいあったか弁当配布事業
- (3) 家族介護者交流事業
- (4) 車イス等貸与事業
- (5) 上寿祝
- (6) 金婚を祝う会
- (7) 罹災家庭援護事業

11. ニーズ対応型コミュニティサービスの支援

- (1) 行政区福祉事業への支援協力(助成金の交付)
- (2) 行政区ミニデイサービスサポート事業
- (3) 介護予防シニア元気塾
- (4) ふれあい・いきいきサロン活動の推進
- (5) 行政区テント配分事業

12. 小地域ネットワーク活動の推進

13. 生活支援・介護予防事業の推進

- (1) 生活支援・介護予防事業の推進

誰もが安心のサービスを(福祉サービスの適切な利用を促進しよう)

14. 総合相談体制の整備・強化

- (1) 困りごと相談事業

15. サービス標準化の取り組み推進

- (1) サービス標準化のためのサービス水準の確保
- (2) 個別援助計画作成の促進

16. 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

- (1) 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

17. 苦情処理・解決制度の取り組み推進

18. 個人情報保護の仕組みの確立

19. 人権擁護・虐待防止に関する体制整備

みんなが主役のまちづくり(ボランティア活動を促進しよう)

20. ボランティアセンターの充実

- (1) ボランティア活動・団体への支援
- (2) ボランティア活動への協力
- (3) ボランティアに係る会議・研修会等

21.総合学習と連携した学習・活動機会の提供

- (1) 学校等教育機関等への情報提供
- (2) 福祉教育協力校の指定
- (3) 福祉体験学習の実施
- (4) 第19回福祉作文・ポスターコンクールの実施

よりよい社協づくりのために(社協発展強化計画)

22.社協会員制度の加入促進

- (1) 一般会員及び賛助、特別会員の加入促進

23.災害ボランティアセンター等災害関連事業

- (1) 災害ボランティアセンターの体制整備
- (2) 災害時相互支援協定に基づく連絡調整
- (3) 災害ボランティアセンター等研修会への参加

24. 在宅福祉事業の実施

- (1) 介護保険事業(介護予防事業等を含む)

- ①訪問介護事業所(ヘルパーステーション)

- 訪問介護事業・・・介護保険

- 居宅介護事業・・・障害福祉サービス

- ア) 中新田ヘルパーステーション

- イ) 加美町社協ヘルパーステーション

- ②居宅介護支援事業所(ケアサポートセンター)

- ア) 加美町社協ケアサポートセンター

- ③通所介護事業所(デイサービスセンター)

- ア) 中新田デイサービスセンター

- イ) 小野田西部デイサービスセンター

- ウ) 宮崎デイサービスセンター

- (2) 障害福祉サービス事業

- ①居宅介護事業所(ヘルパーステーション)は、介護保険事業に記載

- ②就労継続支援B型事業所

- ア) クローバーハウス

- ③多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型事業)

- ア) やくらいアットハウス

- ④特定相談支援事業所

- ア) 加美町社協相談支援事業所カミング

- ⑤中新田地域活動支援センター(受託事業)

- ア) あおぞら

令和3年度事業報告書(附属明細書)

(期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日)

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

事業計画に基づき、役職員をはじめ行政、各種関係団体等との連携を図り、地域住民の協力のもと、地域福祉推進のため次のとおり事業を実施しました。

本会運営に関する事業(法人運営事業)

1. 本会運営に関する事業

(1)理事会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月31日	第1回理事会	事業報告及び決算の承認、評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員候補者の推薦、理事・監事の推薦、評議員の招集、評議員選任・解任委員会の招集	理事10名 監事3名	中新田福祉センター
6月16日	第2回理事会	会長・副会長の選定、評議員選任・解任委員会委員の選任	理事11名 監事1名	中新田福祉センター
9月22日	第3回理事会	行政官庁の検査報告、会長の職務執行状況、規則改正、補正予算(第1次)、評議員会の招集	理事12名 監事2名	中新田福祉センター
12月16日	第4回理事会	上半期事業報告、規程改正、加美町社協ヘルパーステーションの廃止、運営規程の廃止、補正予算(第2次)、評議員会の招集	理事12名 監事2名	小野田福祉センター
3月17日	第5回理事会	会長の職務執行状況、規程・規則改正、役員等賠償責任保険契約の締結、補正予算(第3次)、事業計画及び予算、評議員会の招集	理事10名 監事3名	小野田福祉センター

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
9月16日	会長・副会長会議	会長・副会長の職務、令和3年度第3回理事会の内容、在宅福祉事業の経営改善(案)	3名	中新田福祉センター
3月10日	会長・副会長会議	新型コロナウイルス感染確認及び対応、第5回理事会の内容、他	2名	中新田福祉センター

(2)監事会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月24日	第1回監事会	令和2年度分監査	監事3名 会長	中新田福祉センター
11月9日	第2回監事会	令和3年度分上半期事業報告、上半期会計執行状況報告、9月末残高確認	監事3名 会長	中新田福祉センター

(3) 評議員会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
6月16日	第1回評議員会	事業報告及び決算の承認、役員 の選任	評議員13名 監事2名 会長・副会長1名	中新田福祉センター
9月30日	第2回評議員会	行政官庁の検査報告、補正予 算(第1次)	評議員15名 会長・副会長2名	中新田福祉センター
12月24日	第3回評議員会	上半期事業報告、加美町社協 ヘルパーステーションの廃止、 補正予算(第2次)	評議員17名 会長・副会長2名	小野田福祉センター
3月25日	第4回評議員会	補正予算(第3次)、事業計画 及び予算	評議員13名 会長・副会長1名	小野田福祉センター

(4) 評議員選任・解任委員会

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
6月7日	第1回評議員選任・解任委員会	評議員の選任	5名	中新田福祉センター

(5) 地区推進員会議

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
7月13日	宮崎地区推進員会議	事業報告、事業計画、福祉事業助成 金、テント配分・小地域ネットワーク事 業、会員募集等	25名	宮崎生涯学習センター
7月16日	小野田地区推進員会議	事業報告、事業計画、福祉事業助成 金、テント配分・小地域ネットワーク事 業、会員募集等	18名	小野田福祉センター
7月20日	中新田地区推進員会議	事業報告、事業計画、福祉事業助成 金、テント配分・小地域ネットワーク事 業、会員募集等	22名	中新田公民館

(6) 職員会議

毎月、各事業所の代表者等による事業所代表者会議を開催。(内容:管理者研修、安全衛生委員会等)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議にした月あり

その他の会議等 事務局職員会議(月1回定例開催)

在宅福祉事業経営改善に向けた会議等(全体検討会、分野別検討会、他)

2. 共同募金運動

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
5月24日	第1回監事会	監査	監事3名 会長	中新田福祉センター
5月31日	第1回理事会	事業報告及び決算	理事9名 監事3名	中新田福祉センター
6月16日	理事選考委員会	理事の選任	選考委員13名 監事2名 会長・副会長1名	中新田福祉センター
6月16日	第2回理事会	会長・副会長・監事選任、配分調 査委員会委員委嘱	理事11名 監事1名	中新田福祉センター
8月6日	市町村共同募金委員会事務局長会議		1名	オンライン

9月22日	第1回配分調査委員会	令和3年度配分金配分計画審査	3名 会長	中新田福祉センター
	赤い羽根共同募金運動（～12月31日）(5,470,011円)			町内
10月5日	市町村共同募金委員会担当者ミーティング		1名	オンライン
11月2日	市町村共同募金委員会巡回訪問（県共同募金会2名来所）		4名	中新田福祉センター
	歳末たすけあい募金運動（～12月31日）(122,460円)			町内
12月15日	県共同募金会第228回評議員会		会長	仙台市
12月22日	第2回配分調査委員会	歳末たすけあい募金事業配分計画審査	4名	中新田福祉センター
1月24日	市町村共同募金委員会担当者ミーティング		1名	オンライン
3月17日	第3回理事会	補正予算、事業計画及び予算	理事10名 監事3名	小野田福祉センター

3. 各福祉団体への協力、支援

- ①加美町身体障害者福祉協会(3地区)
- ②加美町老人クラブ連合会(3地区)
- ③加美町ボランティア友の会(3地区)
- ④加美町遺族会(2地区) ※宮崎地区は脱会
- ⑤加美町母子福祉会

4. その他の大会、会議等への参加、協力等

会長

- ・市町村社会福祉協議会会長・事務局長会議
- ・加美町ホストタウン推進協議会
- ・加美町協働のまちづくり推進協議会
- ・加美町表彰式
- ・加美町民生委員児童委員推薦会

職員

- ・市町村社会福祉協議会事務局長会議
- ・市町村社会福祉協議会連絡会 県北圏域会議、幹事会
- ・加美町秋まつり実行委員会
- ・加美町「町民新年祝賀会」実行委員会
- ・加美町災害義援金配分委員会
- ・宮城県地域共生社会推進会議

みんながわかりあうまちづくり(情報・地域課題を共有しよう)

5. 地域住民の福祉ニーズの把握

(1) 民生委員児童委員との連携強化

地域福祉事業の推進を目的に3地区民協定例会等において連絡調整を行った。

(2) 住民アンケートの実施

「第3次加美町地域福祉活動計画策定」のための地域福祉に関するアンケート調査を実施した。

調査対象者:町内1,000世帯(本会会員台帳を基に1,000世帯を無作為抽出)

配布方法:郵送による配布

回収方法:本部及び各地区福祉サービスセンターに直接持参又は郵送による回収

実施時期:令和3年11月10日～令和4年1月31日

回収数:562人

回収率:56.2%

6. 地域福祉に関する総合的な情報提供(広報活動の充実)

(1) 社協だよりの発行

法人の機関紙として「社協だより」の発行を行った。

発行日	号数	部数	内容
6月1日	第86号	8,300	事業計画、当初予算、福祉体験学習、ふれあい・いきいきサロン登録募集、ボラセン通信、ボランティア団体助成、まもりーぶ、お知らせ、職員募集、他
8月1日	第87号	8,300	事業報告、決算報告、いきいきサロン紹介、会長あいさつ、社協役員紹介・組織図、ボラセン通信、介護事業所紹介、お知らせ、職員募集、他
11月1日	第88号	8,300	福祉作文・ポスターコンクール、一人暮らし高齢者訪問事業、住民アンケート調査協力、西部デイサービス提供時間変更のお知らせ、コロナに係る特例貸付他
2月1日	第89号	8,300	小地域ネットワーク活動、金婚記念品事業、特別・賛助会費等報告、共同募金実績報告、ボランティア保険、表彰者紹介、介護サービス事業所お知らせ、職員募集他

(2) パンフレットの作成

事業所パンフレットを作成し、加美町社会福祉協議会が展開している在宅福祉サービスの住民周知に努めた。

(3) ホームページ活用による情報発信

加美町社会福祉協議会のホームページを随時更新し、お知らせや事業予定などタイムリーな情報の発信を行った。

(4) 行政広報誌への掲載等

加美町広報紙に寄付金の紹介、生活相談所開設等の記事を掲載した。

共に支えあうまちづくり(地域福祉を推進しよう)

7. 基幹的福祉サービス基盤の充実

(1) 高齢者等生活支援(配食サービス)事業

65歳以上の一人暮らし・二人暮らし世帯で、要介護認定を受けている方(要支援以上を含む)、障害者手帳等の交付を受けている方、またはこれらに準ずる方であって、生活支援を必要とする方へ夕食の弁当を宅配した。

毎週月曜日から金曜日に実施

・配食サービス実績

	実施回数	利用者数	配食数	ボランティア延べ人数
中新田地区	242回	45名	5,492食	297名
小野田地区	242回	31名	3,726食	313名
宮崎地区	242回	29名	2,670食	0名
計		105名	11,888食	610名

(2) 高齢者等生活支援(除雪サービス)事業

在宅のおおむね70歳以上の世帯であって、要介護状態等にある登録した世帯に対し除雪費用の助成を行った。実際の除雪作業は加美町シルバー人材センターに委託して行った。

	登録者数	利用者数	利用実績
中新田地区	6名	6名	64回
小野田地区	0名	0名	0回
宮崎地区	2名	2名	21回
計	8名	8名	85回

8. 公的サービスの利用支援

(1) 日常生活自立支援事業(まもりーぶ)の利用促進

日常生活を営むのに支障がある方(知的障害者、精神障害者、認知症高齢者等)に対して福祉サービスの利用援助等に関し、金銭管理等の一連の援助を行った。実施する際は、県社協、行政機関、社会福祉関係者との連携を図りながら行った。

支援内容 ・定期的な訪問による生活変化の見守り
 ・日常生活に必要な預貯金の払い戻し
 ・公共料金の引落としや年金などの受取確認

①利用者数 9名

内訳	知的障害者	精神障害者	認知症高齢者	その他	計
中新田地区	2名	0名	0名	0名	2名
小野田地区	1名	2名	1名	0名	4名
宮崎地区	0名	1名	2名	0名	3名
計	3名	3名	3名	0名	9名

②延べ利用回数 229回

内訳		知的障害者	精神障害者	認知症高齢者	その他	計
	中新田地区	76回	0回	0回	0回	76回
	小野田地区	24回	75回	4回	0回	103回
	宮崎地区	0回	22回	28回	0回	50回
	計	100回	97回	32回	0回	229回

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
7月9日	地域ケア会議(処遇検討会)		2名	中新田福祉センター
10月29日	新任生活支援員研修会		2名	小野田福祉センター
3月15日	日常生活自立支援事業直営圏域生活支援員の通信訓練		—	町内(各生活支援員)
3月22日	新任生活支援員研修会		1名	宮崎福祉センター

(2)生活困窮者自立支援事業の利用促進、連携強化

生活困窮者の自立支援を目的に、宮城県北部自立相談支援センターと随時、連絡調整を行い、生活困窮者自立支援事業の利用促進に努めた。

9. 地域自立生活を促進する経済支援

(1)生活福祉資金貸付事業

高齢者世帯・障害者世帯・低所得世帯に対し低利または無利子での各種資金を貸付する。実施主体は都道府県社協であり、市町村社協が申請窓口となる。資金の種類は、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金等があり、資金の用途別に貸付される。

①3年度新規貸付件数 108件

内訳		総合支援資金	福祉・教育・小口	不動産担保型生活資金	要保護世帯向け 不動産担保型生活資金	特例貸付	相談件数
	中新田地区	0件	0件	0件	0件	82件	158件
	小野田地区	0件	0件	0件	0件	14件	26件
	宮崎地区	0件	0件	0件	0件	12件	32件
	小計	0件	0件	0件	0件	108件	216件
	合計	108件					

②3月末現在貸付件数及び貸付金額

ア)福祉・教育・小口資金 15件(償還残額 5,357,903円)

内訳		前年度末件数	前年度末償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	7件	2,714,535円	0円	141,700円	2,572,835円	7件
	小野田地区	6件	2,931,218円	0円	487,600円	2,443,618円	6件
	宮崎地区	2件	377,450円	0円	36,000円	341,450円	2件
	計	15件	6,023,203円	0円	665,300円	5,357,903円	15件

イ) 離職者支援資金 1件 (償還残額 461,262円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	1件	461,262円	0円	0円	461,262円	1件

ウ) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 1件 (貸付残額 217,968円)

	件数	貸付限度額	貸付残額
中新田地区	1件	4,911,200円	217,968円

エ) 生活復興支援資金貸付 1件 (償還残額 456,047円)

内訳	地区	前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	宮崎地区	1件	506,047円	0円	50,000円	456,047円	1件

オ) 緊急小口資金(特例貸付)

- ・平成23年度東北地方太平洋沖地震関係

35件 (償還残額 3,644,910円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	27件	3,040,000円	0円	50,500円	2,989,500円	27件
	小野田地区	3件	165,000円	0円	10,000円	155,000円	3件
	宮崎地区	5件	533,410円	0円	33,000円	500,410円	5件
	計	35件	3,738,410円	0円	93,500円	3,644,910円	35件

- ・新型コロナウイルス感染症関係

135件 (償還残額 25,187,220円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	62件	11,040,000円	6,600,000円	41,650円	17,598,350円	94件
	小野田地区	22件	3,700,000円	1,100,000円	11,130円	4,788,870円	27件
	宮崎地区	9件	1,800,000円	1,000,000円	0円	2,800,000円	14件
	計	93件	16,540,000円	8,700,000円	52,780円	25,187,220円	135件

カ) 総合支援資金(特例貸付)

- ・新型コロナウイルス感染症関係

99件 (償還残額 66,950,000円)

内訳		前年度末 件数	前年度末 償還残額	新規貸付金額	償還額	償還残額	件数
	中新田地区	22件	15,850,000円	31,350,000円	0円	47,200,000円	72件
	小野田地区	8件	4,600,000円	7,350,000円	0円	11,950,000円	17件
	宮崎地区	3件	2,000,000円	5,800,000円	0円	7,800,000円	10件
	計	33件	22,450,000円	44,500,000円	0円	66,950,000円	99件

- ・その他会議、研修会等

月 日	事業名	出席	場 所
3月4日	市町村社協生活福祉資金担当者会議	1名	オンライン

(2)生活安定資金貸付事業

低所得世帯等に対し、安定した生活が送れるように加美町社協が行う貸付制度。(無利子)

①3年度新規貸付件数 10件(貸付金額 100,000円)

内訳		件数	新規貸付金額	相談件数
	生活安定資金	0件	0円	0件
	生活安定資金(緊急特別つなぎ資金)	10件	100,000円	10件
	計	10件	100,000円	10件

②3月末現在貸付件数及び貸付金額 33件(償還残額 929,000円)

内訳		前年度末件数	前年度末償還残額	貸付金額	償還額	償還残額	件数
	生活安定資金	24件	907,000円	0円	107,000円	800,000円	20件
	生活安定資金(緊急特別つなぎ資金)	9件	89,000円	100,000円	60,000円	129,000円	13件
	計	33件	996,000円	100,000円	167,000円	929,000円	33件

10. 地域福祉事業の推進

(1)一人暮らし高齢者訪問事業

70歳以上の一人暮らし高齢者世帯を対象に、心身の状況や生活実態を把握し、必要かつ適切な支援へとつなげるために、各地区民生委員の協力のもと訪問事業を実施した。(不織布マスク配布)

月 日	事業名	内 容	訪問	場 所
11月～12月	中新田地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	250名	中新田地区
〃	小野田地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	95名	小野田地区
〃	宮崎地区一人暮らし高齢者訪問事業	安否確認・生活実態調査等	112名	宮崎地区

(2)歳末ふれあいあったか弁当配布事業

歳末たすけあい配分金により、町内の70歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、弁当の配布を行った。

月 日	事業名	内 容	配布	場 所
12月15日	中新田地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	229名	中新田地区
12月15日	小野田地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	91名	小野田地区
12月17日	宮崎地区ふれあいあったか弁当	安否確認を兼ねた弁当配布事業	101名	宮崎地区

(3)家族介護者交流事業

日頃、在宅において要介護2以上のご家族の介護をしている介護者の集いを開催した。レクリエーションや近況報告などをおして、リフレッシュを図っていただいた。

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
11月2日	(中新田地区) 家族介護者交流のつどい	パークゴルフ	3名	やくらいパークゴルフ場
11月5日	(小野田・宮崎地区) 家族介護者交流のつどい	パークゴルフ	6名	やくらいパークゴルフ場

(4) 車イス等貸与事業

高齢者や障害者、骨折した方などを対象として、通院や旅行、外出など臨時的に必要な車イスの貸与を行った。

内訳		件数
	中新田地区	41件
	小野田地区	5件
	宮崎地区	2件
	計	48件

(5) 上寿祝

満100歳を迎えられた方15名に記念品を贈呈し、上寿を祝った。

(6) 金婚を祝う会

結婚50年を迎えられたご夫婦に記念品を贈呈し、金婚を祝った。
(昭和46年入籍者対象:36組72名)

(7) 罹災家庭援護事業

火災に見舞われた世帯に対し、見舞金を支給した。(全焼3万円、半焼2万円)

中新田地区・・・1件(全焼1件)

宮崎地区・・・1件(全焼1件)

11. ニーズ対応型コミュニティサービスの支援

(1) 行政区福祉事業への支援協力(助成金の交付)

福祉に関する事業を実施する行政区に対し、申請により事業費の一部を助成し、地域福祉事業の推進を図った。(73行政区／79行政区中)

- ・中新田地区・・・24行政区
- ・小野田地区・・・21行政区
- ・宮崎地区・・・28行政区

(2) 行政区ミニデイサービスサポート事業

行政区が主体となって行うミニデイサービス事業(町補助事業)を側面から支援する事業として実施した。案内状の作成や印刷、レクリエーション物品の貸し出し、献立の作成等を行った。

・行政区ミニデイサポート事業実績

	物品貸出	文書作成	印刷
中新田地区	7件	0件	12件
小野田地区	9件	18件	29件
宮崎地区	2件	10件	13件
計	18件	28件	54件

(3) 介護予防シニア元気塾

介護予防の推進を目的に、行政区で行う事業(主にミニデイサービス)等に出向き、レクリエーション等を実施した。

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
7月14日	平柳ミニデイサービス	軽体操等	26名	平柳構造改善センター
7月21日	南町ミニデイサービス	頭と身体を使ったレクリエーション	24名	中新田公民館
12月8日	西上野目ミニデイサービス	健康講話、レクリエーション	20名	西上野目集会所
12月10日	味ヶ袋ミニデイサービス	健康講話、レクリエーション	13名	味ヶ袋集会所

(4) ふれあい・いきいきサロン活動の推進

高齢者・障害者・子育て世帯などが、サロンに参加することによって、孤独感の解消や、生きがい(参加意欲)や仲間づくりを進めることを目的に、登録制を実施、助成金の交付を行った。

ふれあい・いきいきサロン事業実績

地区	登録サロン 件数	区 分			助 成 金 額		
		高齢者	障害者	子育て	10,000円	15,000円	20,000円
中新田地区	5件	5件	0件	0件	3件	2件	0件
小野田地区	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
宮崎地区	1件	1件	0件	0件	1件	0件	0件
計	6件	6件	0件	0件	4件	2件	0件

(5) 行政区テント配分事業

災害時における地域の防災力向上と住民の社会参加促進を目的として、申請のあった行政区に対して抽選によりテントを配分した。

・配分決定行政区 3行政区(長清水、切込、本郷)

・その他会議、研修会等

月 日	事業名	出席	場 所
10月25日	行政区テント贈呈式	4名	中新田福祉センター

12. 小地域ネットワーク活動の推進

小地域ネットワーク活動は小地域(概ね行政区)を単位として、要援護者一人ひとりを対象に、保健・福祉・医療の関係者と住民が協働して進める見守り、援助活動である。主な活動としては、見守り、安否確認、声かけ運動、ちょっとした買い物やごみ出し、掃除や除雪などがあげられる。

行政区内の要援護者世帯(一人・二人暮らし高齢者世帯、障害者世帯等)の除雪を近隣住民による助け合いで取り組む行政区をモデル地区に指定し、助成金の交付を行った。

①モデル地区(行政区)の指定

24行政区

②モデル地区(行政区)による除雪作業

地区名	行政区数	対象世帯	除雪回数				
			12月	1月	2月	3月	計
中新田地区	12行政区	51世帯	193回	346回	226回	6回	771回
小野田地区	7行政区	35世帯	164回	273回	149回	0回	586回
宮崎地区	5行政区	17世帯	60回	101回	69回	4回	234回
合計	24行政区	103世帯	417回	720回	444回	10回	1,591回
(申請時 25行政区 113世帯)							

1世帯/年あたり5,000円の助成金を交付した。

中新田地区(並柳、中新田城内、岡町、田川、あさひ、四日市場宿、下新田上、菜切谷新田、上狼塚北、下多田川、上多田川上、白子田)

小野田地区(門沢、味ヶ袋、東鹿原、雷、中区、下野目、月崎)

宮崎地区(東町、西原、切込、孫沢、鳥屋ヶ崎)

13. 生活支援・介護予防事業の推進

(1)生活支援・介護予防事業の推進

①加美町生活支援体制整備事業協議体の参加

月 日	事業名	出席	場 所
10月8日	第1回加美町生活支援体制整備事業協議体	3名	やぐらい文化センター
12月20日	第2回加美町生活支援体制整備事業協議体	3名	中新田公民館
2月25日	第3回加美町生活支援体制整備事業協議体	2名	中新田公民館

誰もが安心のサービスを(福祉サービスの適切な利用を促進しよう)

14.総合相談体制の整備・強化

(1)困りごと相談事業

①生活相談所の開設

定例開設 月1回(毎月第3木曜日、中新田公民館1階・第一相談室)

随時相談窓口の開設

相談所開設	加美町生活相談所・・・11日間開設(相談員出席延べ22名)、相談件数6件 随時相談・・・・・・・開設なし
-------	---

相談内容	生 計	0件	家 族	0件	老人福祉	0件
	医 療	0件	離 婚	0件	人権・法律	0件
	財 産	1件	職業・生業	0件	住 宅	0件
	健康・衛生	0件	苦 情	0件	結 婚	0件
	事 故	0件	障害福祉	0件	そ の 他	5件

②法律専門相談の開設(年3回弁護士による無料法律相談を実施)

月 日	申込み件数	相談件数	場 所
7月2日	2件	2件	中新田福祉センター
11月5日	5件	5件	中新田福祉センター
3月9日	3件	3件	小野田福祉センター
計	10件	10件	

③行政書士による無料法務相談(月1回)との連携を図った

・その他会議、研修会等

月 日	事 業 名	出席	場 所
4月2日	生活相談員定例会議(開設日程等)	6名	中新田福祉センター

生活相談所開設日について・・・毎月町広報誌に掲載、社協だよりに掲載

15. サービス標準化の取り組み推進

(1) サービス標準化のためのサービス水準の確保

質の高いサービスを提供し続けるための取り組みとして、各事業所ごとのサービス提供マニュアルを作成しており、随時見直しを行っている。

(2) 個別援助計画作成の促進

利用者一人ひとりの状態に応じた、ケアプランに沿った適切なサービスが提供できるよう、個別援助計画(個別支援計画)を作成した。

16. 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

(1) 事故予防、事故後対応等の取り組み推進

①リスクマネジメント体制の構築

福祉サービスにおける事故等のリスクの軽減・回避するための予防的側面と介護事故が生じた場合の事後的対応について、介護サービスにおけるリスクマネジメント体制の整備を図った。

- ・リスク管理委員会の体制整備
- ・ヒヤリ・ハット報告を活用した介護事故の予防及び安全の確保
- ・リスクマネジメントに関する研修会への参加

②リスク管理委員会の開催

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
9月28日	第1回リスク管理委員会	交通事故発生報告、事故(介護・障害)の事例検証	14名	中新田福祉センター

17. 苦情処理・解決制度の取り組み推進

①苦情処理・解決制度の運用

社会福祉サービスに対する利用者の苦情や意見を幅広く汲み上げ、サービスの改善を図るために、苦情処理体制を整備し、運用した。

- ・事業所内における苦情解決手順の確立
- ・苦情解決のための第三者委員会の体制整備
- ・苦情受付件数 9件

②苦情解決のための第三者委員会の開催

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
10月29日	苦情解決のための第三者委員会	苦情処理状況他	9名	中新田福祉センター

18. 個人情報保護の仕組みの確立

①個人情報保護規程の運用

本会が保有する個人情報の適正な取扱いを確保するため定めた個人情報保護規程に基づき、事業の適正かつ円滑な運営を図りつつ、個人の権利利益を保護するよう運用した。

②特定個人情報取扱規程の運用

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等に則り定めた特定個人情報取扱規程に基づき、本会が扱う個人番号及び特定個人情報等が適切に取り扱われるよう慎重に運用した。

19. 人権擁護・虐待防止に関する体制整備

①責任者の選定及び必要な体制の整備

本会が運営する事業所等において、利用者の人権擁護、虐待防止等のため、虐待防止責任者を選任し、相談窓口として虐待相談担当者を配置した。

みんなが主役のまちづくり(ボランティア活動を促進しよう)

20. ボランティアセンターの充実

(1) ボランティア活動・団体への支援

①ボランティア友の会への支援、助成金交付

- ・ボランティア助成金交付事業

助成金を交付し、ボランティア友の会の活動を支援した。

加美町ボランティア友の会

②ボランティアグループへの支援、助成金交付

- ・グループ活動支援

助成金を交付し、ボランティアグループの活動を支援した。

ほのぼの会、お話おばさん、童話の会

・ボランティア助成金交付事業

助成金を交付し、ボランティア団体の活動を支援した。

加美町食生活改善推進員会

③ボランティア保険窓口業務

宮城県社会福祉協議会が行うボランティア活動保険の加入を推進し、その窓口業務を行った。

	件数	人数
加美町社会福祉協議会	1件	5名
行政区(安全安心パトロール)	29件	348名
個人ボランティア(施設・災害等)	2件	2名
その他団体	10件	434名
計	42件	789名

(2) ボランティア活動への協力

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
10月30日	小破修繕ボランティア	中新田建築業組合による中新田地区高齢者世帯への小破修繕活動(7件)	2名	中新田地区

(3) ボランティアに係る会議・研修会等

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
7月12日	地域福祉・ボランティア業務担当者会議		1名	オンライン
11月12日	運転ボランティア意見交換会(HACCP導入に伴う温度管理等)		16名	小野田福祉センター
2月4日	地域福祉・ボランティア業務担当者会議		1名	オンライン
3月1日	宮城県ボランティア活動総合補償制度並びに地域福祉総合補償制度に係る事務説明会		1名	オンライン

21. 総合学習と連携した学習・活動機会の提供

(1) 学校等教育機関等への情報提供

学校のボランティア・福祉教育推進のため、情報提供や各団体等との連絡調整を行った。

(2) 福祉教育協力校の指定

町内の8小学校(中新田小・鳴瀬小・広原小・東小野田小・西小野田小・鹿原小・宮崎小・賀美石小)、3中学校(中新田中、小野田中、宮崎中)、6幼保園(中新田幼稚園なかよしこども園、えがおのはなさくみんなのほいくえん、中新田保育所、おのだひがし園、おのだにし園、みやざき園、)を加美町福祉教育協力校に指定の上、助成金を交付し、福祉教育活動を推進した。

(3) 福祉体験学習の実施

月 日	事 業 名		出席	場 所
6月15日	広原小学校総合学習	講師派遣(車イス、白杖体験)・4年生	15名	広原小学校
6月25日	鳴瀬小学校総合学習	講師派遣(車イス、白杖体験)・4年生	10名	鳴瀬小学校
2月2日	賀美石小学校総合学習	講師派遣(車イス、白杖体験)・4年生	17名	賀美石小学校

(4) 第19回福祉作文・ポスターコンクールの実施

町内の子供たちを対象に社会福祉に対する関心を深め、福祉の心(おもいやり・たすけあい・ささえあい)の精神と社会連帯意識の高揚を図ることを目的に、第19回福祉作文・ポスターコンクールを実施した。

- ・福祉作文の部……最優秀賞2点、優秀賞3点、佳作5点
- ・福祉ポスターの部…最優秀賞3点、優秀賞5点、佳作6点

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
6月	作品募集	町内小中学校に依頼		
10月6日	審査会	審査、入選確定	13名	宮崎福祉センター

よりよい社協づくりのために(社協発展強化計画)

22. 社協会員制度の加入促進

(1) 一般会員及び賛助、特別会員の加入促進

区分	会費の基準額	会費の合計額	備考
一般会費	1世帯あたり1,000円	6,797,500円	6,931世帯(減免世帯含む)
賛助会費	1口 3,000円	276,000円	92口(92件)
特別会費	1口 10,000円	1,190,000円	119口(111件)
会費総額		8,263,500円	

23. 災害ボランティアセンター等災害関連事業

(1) 災害ボランティアセンターの体制整備

加美町内を区域とする大規模災害が発生した場合、被災住民のいち早い復興支援と県内外から駆けつけてくる災害ボランティアの活動が円滑、効果的かつ安全に遂行されるよう災害ボランティアセンターを設置することとしている。設置運営要綱を定めるなど災害ボランティアセンターの体制整備を図り備えていたが、令和3年度の開設はなかった。

(2) 災害時相互支援協定に基づく連絡調整

① 災害時相互支援協定に基づく連絡会議等

宮城県内の35市町村社会福祉協議会及び宮城県社会福祉協議会との間に結んだ災害時相互支援協定に基づき、災害時の迅速かつ効果的な支援体制の確立を図るため、災害支援連絡会議等を設け、随時、連絡調整を行った。

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
6月15日	災害時相互支援協定に基づく県社協と市町村との情報伝達訓練	—	—	中新田福祉センター
6月29日	災害時相互支援協定に基づく連絡担当者会議	1名	1名	オンライン
7月8日	災害時相互支援協定に基づく大崎圏域ブロック市町村社協連絡担当者会議	1名	1名	大崎市古川
9月1日	災害時相互支援協定に基づく県社協と市町村との情報伝達訓練	—	—	中新田福祉センター
3月29日	災害時相互支援協定に基づく情報共有会議	1名	1名	オンライン

(3) 災害ボランティアセンター等研修会への参加

月 日	事 業 名	内 容	出席	場 所
7月6日	加美町職員防災研修会		8名	中新田体育館
9月21日	災害ボランティアセンター応援スタッフ養成研修		1名	オンライン
11月12日	高齢者世帯・社会福祉施設向「防火・防災講話」		3名	加美消防署西部分署

24. 在宅福祉事業の実施

(1) 介護保険事業(介護予防事業等を含む)

① 訪問介護事業所(ヘルパーステーション)

訪問介護事業・・・介護保険

要介護・要支援世帯の在宅での生活を支援するため、訪問介護員(ホームヘルパー)を派遣し、生活援助や身体介護等のサービスを提供した。

生活援助・・・内容は、調理・洗濯・掃除・買い物・相談等

身体介護・・・内容は、食事介助・排せつ介助・衣類脱着介助・入浴介助・清拭等

身体・生活・・・内容は、身体介護と生活援助の折衷型

居宅介護事業・・・障害福祉サービス

家事援助・・・内容は、調理・洗濯・掃除・買い物・相談等

身体介護・・・内容は、食事介助・排泄介助・衣類着脱介助・入浴介助・清拭等

重度訪問介護・・・

内容は、日常生活全般に常時の支援を要する重度の肢体不自由の方に対する身体介護、家事援助、見守り等の支援及び外出時における移動中の介護が比較的長時間にわたり、断続的に提供されるような支援

ア) 中新田ヘルパーステーション

介護保険事業

延べ利用登録者数 41名(要介護者数 34名、事業対象者数 7名)

生活援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	2,127回	
		延時間	1,793時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類脱着介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	1,236回	
		延時間	731時間	
身体生活	生活援助 ＋ 身体介護	延訪問回数	154回	
		延時間	154時間	
総合事業	要支援者と介護予 防や生活支援を必 要とする高齢者へ の訪問介護	延訪問回数	293回	
		延時間	282時間	
計		延訪問回数	3,810回	(前年比91.8%)
		延時間	2,960時間	(前年比98.7%)

障害福祉サービス事業

延べ利用登録者数 9名(居宅介護 7名、重度訪問介護 2名)

家事援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	312回	
		延時間	325時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類着脱介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	682回	
		延時間	747時間	
重度訪問介護	重度の肢体不自由 の方に対する身体 介護、家事援助、 見守り等	延訪問回数	549回	
		延時間	414時間	
計		延訪問回数	1,543回	(前年比89.9%)
		延時間	1,486時間	(前年比91.3%)

イ)加美町社協ヘルパーステーション

介護保険事業

延べ利用登録者数 36名(要介護者数 35名、事業対象者数 1名)

生活援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	1,890回
		延時間	1,708時間
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類脱着介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	1,629回
		延時間	866時間
身体生活	生活援助 ＋ 身体介護	延訪問回数	349回
		延時間	387時間
総合事業	要支援者と介護予 防や生活支援を必 要とする高齢者へ の訪問介護	延訪問回数	77回
		延時間	69時間
計		延訪問回数	3,945回 (前年比113.5%)
		延時間	3,030時間 (前年比116.4%)

障害福祉サービス事業

延べ利用登録者数 5名(居宅介護 5名)

家事援助	調理、洗濯、掃除、 買い物、相談等	延訪問回数	314回	
		延時間	319時間	
身体介護	食事介助、排せつ 介助、衣類着脱介 助、入浴介助、清 拭等	延訪問回数	172回	
		延時間	86時間	
計		延訪問回数	486回	(前年比78.5%)
		延時間	405時間	(前年比80.7%)

②居宅介護支援事業所(ケアサポートセンター)

在宅で介護保険制度における居宅サービスを利用するための介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者やその家族の生活を支援した。

ア)加美町社協ケアサポートセンター

介護支援専門員数 8名

延べ利用登録者数 349名(要介護者数326名、要支援者数23名、総合事業者数 0名)

介護サービス計画(ケアプラン)作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総合事業	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
要支援1・2	17件	17件	17件	20件	18件	17件	
要介護1	71件	72件	76件	73件	69件	74件	
要介護2	80件	81件	84件	87件	82件	86件	
要介護3	53件	59件	57件	55件	55件	52件	
要介護4	20件	19件	17件	16件	17件	19件	
要介護5	9件	9件	10件	12件	13件	12件	
計	250件	257件	261件	263件	254件	260件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
要支援1・2	16件	17件	17件	20件	20件	21件	217件
要介護1	73件	75件	73件	76件	72件	69件	873件
要介護2	87件	87件	90件	85件	90件	89件	1028件
要介護3	55件	50件	52件	47件	48件	55件	638件
要介護4	21件	17件	15件	19件	21件	23件	224件
要介護5	12件	12件	12件	14件	11件	12件	138件
計	264件	258件	259件	261件	262件	269件	3,118件

(前年比106.1%)

・要介護認定調査実績(加美町からの受託事業)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
調査数	15件	23件	23件	17件	12件	6件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
調査数	12件	5件	9件	18件	14件	24件	178件

(前年比139.1%)

③通所介護事業所(デイサービスセンター)

デイサービスセンターに通所し、利用者にあわせた介護を提供し、家族の介護負担の軽減や利用者の自立を支援するサービスを行った。サービス内容は、送迎、健康チェック、入浴、食事、おやつ、機能訓練、レクリエーションなど。月曜日から土曜日開設。

ア) 中新田デイサービスセンター

開設日数	305日
延利用者数	6,499名(1日あたり21.3名)
延べ利用登録者数	71名(要介護者数 70名、要支援者数 1名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	9名	0名	0名	0名	0名	0名	
要介護1	88名	100名	100名	104名	112名	94名	
要介護2	186名	215名	221名	230名	213名	198名	
要介護3	177名	195名	168名	163名	154名	154名	
要介護4	62名	67名	74名	76名	80名	91名	
要介護5	28名	29名	30名	35名	32名	36名	
計	550名	606名	593名	608名	591名	573名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	0名	0名	0名	0名	0名	0名	9名
要介護1	106名	114名	139名	127名	124名	94名	1,302名
要介護2	202名	203名	184名	158名	176名	129名	2,315名
要介護3	131名	114名	109名	85名	95名	105名	1,650名
要介護4	100名	81名	86名	64名	58名	69名	908名
要介護5	31名	26名	16名	17名	13名	22名	315名
計	570名	538名	534名	451名	466名	419名	6,499名

(前年比87.0%)

イ)小野田西部デイサービスセンター

開設日数

311日

延利用者数

4,558名(1日あたり14.7名)

延べ利用登録者数

43名(要介護者数 42名、要支援者数 1名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	1名	0名	4名	4名	5名	3名	
要介護1	74名	76名	69名	67名	73名	70名	
要介護2	142名	158名	147名	156名	152名	137名	
要介護3	148名	153名	130名	125名	94名	113名	
要介護4	28名	36名	37名	52名	73名	76名	
要介護5	3名	4名	2名	3名	17名	13名	
計	396名	427名	389名	407名	414名	412名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	2名	1名	1名	5名	0名	0名	26名
要介護1	76名	65名	65名	54名	55名	67名	811名
要介護2	122名	140名	147名	132名	91名	114名	1,638名
要介護3	110名	78名	80名	66名	93名	119名	1,309名
要介護4	61名	63名	65名	63名	58名	53名	665名
要介護5	14名	13名	13名	8名	8名	11名	109名
計	385名	360名	371名	328名	305名	364名	4,558名

(前年比87.2%)

ウ)宮崎デイサービスセンター

開設日数	311日
延利用者数	5,509名(1日あたり17.7名)
延べ利用登録者数	72名(要介護者数 69名、要支援者数 3名)

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援1・2	9名	9名	8名	9名	11名	11名	
要介護1	146名	129名	111名	114名	94名	100名	
要介護2	164名	159名	164名	181名	199名	188名	
要介護3	174名	164名	139名	129名	120名	125名	
要介護4	15名	13名	25名	18名	17名	21名	
要介護5	29名	20名	39名	31名	24名	24名	
計	537名	494名	486名	482名	465名	469名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	14名	16名	19名	16名	16名	18名	156名
要介護1	100名	104名	102名	89名	93名	108名	1,290名
要介護2	186名	184名	149名	118名	99名	132名	1,923名
要介護3	139名	129名	144名	124名	105名	109名	1,601名
要介護4	33名	37名	22名	32名	34名	25名	292名
要介護5	20名	20名	20名	12名	3名	5名	247名
計	492名	490名	456名	391名	350名	397名	5,509名

(前年比90.9%)

(2)障害福祉サービス事業

①居宅介護事業所(ヘルパーステーション)は、介護保険事業に記載

②就労継続支援B型事業所

ア)クローバーハウス

就労継続支援B型事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、就労の機会を提供するとともに、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及びその能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

実績 (延べ利用登録者数 20名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	14日	18日	22日	20日	21日	20日	
実利用者数	20名	19名	19名	19名	19名	18名	
延べ利用者数	270名	298名	403名	367名	340名	329名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21日	20日	20日	19日	18日	11日	224日
実利用者数	18名	19名	19名	19名	18名	17名	
延べ利用者数	357名	360名	365名	322名	305名	170名	3,886名

(前年比86.7%)

具体的な事業内容

- ①就労継続支援B型計画の作成
- ②相談援助
- ③就労の機会や生産活動の提供
 - ダンボールの仕切・組立
 - リサイクル収益事業
 - 手洗い洗車収益事業
 - 木工品等の加工販売
 - 農作物販売事業
 - 養蚕関連事業への試験的な取り組み
- ④就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練

・地域交流事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域交流事業への参加は自粛した。

・その他行事等

買物体験、調理実習等を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため3B体操教室は中止した。

・工賃平均額

一人当たりの月額工賃平均額(賞与含む) 5,928 円

・日中一時支援事業

利用者 1名(利用日数 50日)

・体験学習生等の受け入れ

月 日	内 容	受入人数及び依頼元
10月18日～20日	古川支援学校職場実習受入れ	宮城県立古川支援学校 高等部1年生1名
10月25日	古川支援学校職場実習受入れ	宮城県立古川支援学校 高等部2年生1名

③多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型事業)

就労継続支援B型事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、就労の機会を提供するとともに、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及びその能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

生活介護の事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。

ア) やくらいアットハウス

実績

就労継続支援B型事業（延べ利用登録者数 3名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	20日	21日	20日	
実利用者数	3名	3名	3名	3名	3名	3名	
延べ利用者数	54名	48名	60名	57名	55名	55名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21日	20日	20日	19日	18日	20日	240日
実利用者数	3名	3名	2名	2名	1名	1名	
延べ利用者数	49名	53名	33名	35名	15名	15名	529名

(前年比83.3%)

生活介護事業（延べ利用登録者数 8名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	21日	18日	22日	20日	21日	20日	
実利用者数	5名	5名	5名	6名	6名	6名	
延べ利用者数	95名	88名	108名	95名	92名	99名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21日	20日	20日	19日	18日	20日	240日
実利用者数	5名	6名	7名	7名	8名	8名	
延べ利用者数	104名	108名	133名	126名	132名	153名	1,333名

(前年比115.9%)

・具体的な事業内容

- ①就労継続支援B型計画の作成
- ②相談援助
- ③就労の機会や生産活動の提供、創作的活動
リサイクル収益事業、手洗い洗車収益事業、授産品販売事業
- ④就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- ⑤生活介護計画の作成
- ⑥食事・入浴又は清拭・排せつ等の介護
- ⑦身体機能及び日常生活能力の維持向上のための支援
- ⑧送迎サービス
- ⑨健康管理

・地域交流事業

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
5月14日	読み聞かせ	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	8名	やくらいアットハウス
11月26日	読み聞かせ	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	9名	やくらいアットハウス

・その他行事等

買物体験、調理実習、プール体験、季節に応じたレクリエーションなどを実施した。

・工賃平均額(就労継続支援B型事業)

一人当たりの月額の工賃平均額(賞与含む) 5,686円

・日中一時支援事業

利用者 2名(利用日数 83日)

④特定相談支援事業所

ア)加美町社協相談支援事業所カミング

障害者の心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、利用するサービスの内容等を定めたサービス等利用計画を作成し、障害者やその家族の生活を支援した。

相談支援専門員 1名

延べ利用登録者数 60名

サービス等利用計画及びモニタリング報告書作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実利用者数	54名	54名	56名	56名	57名	58名	
計画数	19件	1件	3件	3件	1件	3件	
モニタリング数	10件	13件	13件	11件	12件	21件	
一般相談件数	13件	34件	43件	35件	26件	22件	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	58名	58名	59名	59名	60名	59名	
計画数	4件	6件	1件	6件	6件	6件	59件
モニタリング数	6件	8件	10件	5件	6件	9件	124件
一般相談件数	18件	32件	65件	57件	38件	34件	417件

(前年比 計画数 131.1%, モニタリング数 119.2%, 一般相談件数 120.2%)

・実地指導

月 日	事業名	内 容	出席	場 所
8月6日	令和3年度事業者等実地指導		1名	カミング

⑤中新田地域活動支援センター(受託事業)

ア)あおぞら

三障害(身体・知的・精神)を対象とし、地域において自立した日常生活及び社会生活ができるよう支援を行う。

事業内容 創作的活動又は生産活動
日常生活における基本的な行動の指導
集団生活への適応訓練

実績 (延べ利用登録者数 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開設日数	19日	18日	22日	20日	19日	20日	
実利用者数	6名	5名	6名	6名	6名	6名	
延べ利用者数	69名	72名	96名	72名	82名	90名	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21日	20日	20日	17日	18日	22日	236日
実利用者数	6名	6名	5名	6名	5名	6名	
延べ利用者数	95名	86名	72名	55名	54名	92名	935名

(前年比90.2%)

・工賃平均額

一人当たりの月額の工賃平均額(賞与含む) 2,108円

・行事等

新型コロナウイルス感染症対策のため、主に施設内での作品作りとサロン活動を行った。